

# 日光国立公園ステップアッププログラム2025改定のポイント

- コンセプト(基本概念)及び目指すべき姿は、ステップアッププログラム2020から継続
- 新たな課題を踏まえ、滞在時間延長と宿泊促進、観光消費額増、満足度向上に向けた取組(eバイクレンタサイクル、アクティビティー元化、トイレ美化等)を実施
- 新たなニーズに対応する取組(ワーケーション、MaaS導入等)を実施
- 誘客・宣伝にはデジタルマーケティングを活用

## 1. 前回からの継続箇所

### ○コンセプト(基本概念)

**NIKKO is NIPPON**  
自然・歴史・文化  
美しい「日本」を感じられる  
東京圏のプレミアムリゾート

### ○目指すべき姿

- ① **上質で奥深い魅力**を満喫できる国立公園
- ② **体験・滞在型**の国立公園
- ③ **脱炭素・循環型を実現**する国立公園

## 2. 主な追加・変更箇所

### ○数値目標

- ・コロナの影響で密を避ける観点から、主要目標を利用者・宿泊者数から観光消費額に変更
- ・訪日外国人に係る指標や、利用者・宿泊者数については、収束までは参考値として設定

#### ◆日本人1人当たりの観光消費額

2019(R元)年  
22,921円

2025(R7)年  
28,000円

#### <参考値>

◆外国人観光客1人当たりの消費額  
37,081円(2019)→**65,000円(2025)**

◆観光客入込数・宿泊数  
**新型コロナ流行前の水準への回復を目指す**

### ○主な取組事項

- ・滞在時間延長と宿泊促進、観光消費促進、利用者満足度向上等の課題や、新たなニーズ(ワーケーションやMaaS等の非接触型サービスなどコロナ対策につながるもの)に対応する取組を追加
- ・受益者負担による持続可能な環境保全を目指した取組を追加

| 上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園   | 体験・滞在・周遊型の国立公園   | 脱炭素・循環型を実現する国立公園  |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ワーケーションの推進</li><li>・キャッシュレス化の推進</li><li>・日本一きれいなトイレを目指す(日光エリア)</li><li>・MaaS導入(日光エリア)</li><li>・修景伐採の実施(日光エリア、鬼怒川エリア、那須・甲子エリア)</li><li>・国際避暑地記念施設を活用したユニークベニューの充実(日光エリア)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・AIを活用した案内</li><li>・一元的な情報発信、アクティビティプラットフォームサイトの整備</li><li>・案内窓口での情報共有(全域を案内できる態勢づくり)</li><li>・eバイクでのセルフガイド付きレンタサイクル導入(那須・甲子エリア、塩原エリア)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGsツアーの創設</li><li>・エコツーリズムを通じた環境保全</li><li>・EVの活用</li><li>・EVバス導入(日光エリア)</li><li>・受益者負担による環境保全等の仕組みの検討(日光エリア)</li></ul> |

※実施地域に片品(群馬県片品村)、甲子(福島県下郷町・西郷村)を追加

### ○宣伝の方針

デジタルマーケティング等を積極的に活用し、日光国立公園として一体的な情報発信等を実施